

令和4年度第1回成田市行政改革推進委員会会議結果概要

1 開催日時

令和4年11月2日（水） 午前9時30分から11時15分まで

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 行政棟3階 第二応接室

3 出席者

（委員）

久野直衛会長、芦澤博委員、諸岡靖彦委員、宗藤睦夫委員

高塚典子委員、岩澤信一委員、田中みを委員、西村好恵委員

（オンラインによる参加の委員）

塚田和佳子副会長

（成田市）

清水総務部長

事務局（行政管理課）伊藤課長、成田主幹、長野主査

4 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 席次
- ・ 資料1 行政改革推進計画（令和元～3年度）の実施状況のまとめ
- ・ 資料2 行政改革推進計画（令和元～3年度）の実施結果
- ・ 資料3 行政改革推進計画（令和元～3年度）の財政的な効果額

5 議題

（1） 成田市行政改革推進計画（令和元～3年度）の実施結果について

6 議事（要旨）

事務局から、成田市行政改革推進計画（令和元～3年度）の実施結果について、配布資料に基づき説明があった。

7 質疑等

（全体的な評価について）

- ・ 塚田副会長 全体的に効果が出ているように見える。
- ・ 西村委員 コロナ禍で思い通りに進まなかったところもあると思うが、全体的に達成項目が多く良かったと思う。
- ・ 宗藤委員 措置事項の項目番号が分かりづらいので、今後、通し番号を付けてみてはどうか。
- ・ 宗藤委員 今回目標を達成し、現計画に引き継がれていないものについても、成

田市にとって重要な事業が多いことから、着実に進めていってほしい。

- ・宗藤委員 財政効果について、例えば自主財源の確保は達成率140%になっているが、措置項目ごとに結果を表示してもらえると見やすい。

(広報について)

- ・田中委員 発信力が不足しているのかなという印象を持った。様々な情報を身近に感じてもらうためにも、市が頑張っていることをしっかり広報した方がいいと考える。
- ・久野会長 情報の発信力も重要だが、市民の受信力も非常に重要だと考える。
- ・諸岡委員 若い世代がどんどん減っていく時代なので、今後、自治体にお世話になる機会が増えていくと感じている。また、自分たちが住んでいるまちに誇りを持ってもらうためにも、自分たちが受けている行政サービスの質の高さを市民に知ってもらうことが大事だと考える。
- ・塚田副会長 成田市が実施している個々の施策は素晴らしいが、本当に困っている人に届いているのか疑問がある。市民に周知され、さらに市民間の横のつながりなども使って、本当に必要としている人に届くようにしてほしい。

(Ⅱ-②-7「実質公債費比率の抑制」について)

- ・宗藤委員 実質公債費率などの財政的な部分で、コロナ関係もあり、状況が悪化しているように見える。今後、JR西口の再開発など、大規模事業が控えているが大丈夫なのか。

→成田市は大規模事業の進捗に伴う公債費の増加によって、各種財政指標の数値の上昇も見られるが、早期健全化基準には程遠く、財政の健全性は維持している。しかし、今後の大規模事業や老朽化に伴う各施設の長寿命化などの財政支出も見込まれるため、市債の借入額と償還額のバランスを考慮するとともに、各種財政指標に留意しつつ、毎年度の実施計画のローリングや行政改革推進計画の措置事項の確実な実践により、一層の経費節減を図り、財政の健全性を維持していく。

(Ⅰ-④-10「出生通知書の電子申請の推進」について)

- ・西村委員 個別の部分では、出生通知書の電子申請の推進について、いい取組だと思うので、積極的に推進していただけるよう担当課にお伝えください。

(Ⅰ-②-16「在宅医療・介護連携の推進」について)

- ・芦澤委員 現状でも在宅医療や介護の関係はよくやってくれているという認識だが、高齢化に伴い、ますます重要な事業になってくると思うので、頑張ってもら

いたい。

(Ⅱ-②-13「ふるさと納税の推進」について)

- ・高塚委員 ふるさと納税をもっと頑張ってもらいたいということを2年前くらいに意見した。最近では寄付額が増えてきているようでうれしく思う。
- ・岩澤委員 ふるさと納税の歳入が伸びているのはいいことだが、市民が寄付をすることで流出している財源も増加しているのか。

→本市のふるさと納税による歳入の増加と、寄付金控除による歳入の減額の差は以前より縮まってきている。

- ・岩澤委員 ふるさと納税は目標額を大きく上回っているが、目標額はどのように設定したのか。また、返礼品はどのようなものがあるのか。

→過去の決算額を参考に目標額を作成している。その後納税額が伸び、乖離してしまっている。返礼品の人気としてはうなぎが多い。その他、航空会社関係、ゴルフ関係など様々なものがある。

(Ⅱ-①-15「敬老祝い金の見直し」について)

- ・高塚委員 敬老祝い金の対象者の見直しについて、サービスについてもっと発信をした方がいいのではないかと考えている。

→高齢者サービスに限らず、情報発信が弱いと感じている。更なる周知について手法も含め検討していく。

(Ⅰ-②-6「マイナンバーカード普及によるコンビニ交付の利用拡大」について)

- ・岩澤委員 マイナンバーカードの普及率について、今後の成田市の考えは。

→交付率は9月末時点で51.43%となっている。市民課の窓口も混みあっており、さらに伸びるのではないかと考えている。また、今後、出張申請などにも力を入れて、普及率の増加に努めていく。

- ・岩澤委員 伸びているのは若い人たちが申請しているからだと考えている。これからは高齢者をターゲットにした方がよい。

(Ⅰ-⑤-4「女性職員のキャリア形成と登用」について)

- ・諸岡委員 管理職への女性の登用率がまだ低いのではないかと感じている。

(Ⅰ-②-19「空き家等対策の推進」について)

- ・諸岡委員 市内の空き家が増えているという感覚がある。空き家は放置されると火災などのリスクが高まり、治安の悪化も懸念されるので、適切に対応してほしい。

い。

(I-②-20「ICT教育の推進」について)

- ・ 諸岡委員 子供たちに教える立場である教員に対しても、ICT能力の向上に向けてサポートしてあげてほしい。
- ICT支援員に教員のサポートをしてもらい、教員のサポート体制を手厚くしている。

(I-①-3「附属機関等への女性登用率の向上」について)

(I-①-4「附属機関等における公募委員等の市政参画の推進と委員構成の見直し」について)

- ・ 西村委員 成田市は女性委員や若者委員の登用を推進しているようだが、委員募集の際にオンライン会議での参加も可能と明記することで、現役世代や子育て中の方も応募しやすくなるのではないか。

(その他)

- ・ 宗藤委員 総合計画も状況に応じて、見直しを行ってほしい。
- 現行の総合計画「NARITAみらいプラン」については12年の計画ではあるが、4年3期の基本計画、向こう3年の計画を毎年見直す実施計画で構成されており、時代の流れや環境の変化に応じて適宜修正している。

8 傍聴

傍聴者 0人